



未来を拓く、なは☆ひとづくり、  
まちづくり、ゆめづくり

# 広報 なは 那覇

## 市民の友



### 謹賀新年



那覇市長 知念 覚

### 夢と情熱が描く 飛躍の年

はいさい ぐすーよー いいそーぐあち  
でーびる

市民のみなさまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、那覇市立病院の新病院開院やパークPFIの活用など、市民生活の充実を実現するとともに、「住み続けたいまち」、「子育て

が楽しくなるまち」の推進に、多くのみなさまと共に歩んでまいりました。市民のみなさまをはじめ、議員のみなさま、事業者のみなさま並びに関係団体・機関のみなさまのお力添えに、心から感謝申し上げます。

本年も、市民のみなさまが安心して暮らし、子どもたちが夢を描ける那覇の実現を目指し、未来を見据えたまちづくりに邁進してまいります。また、本年は、いよいよ首里城正殿

が復元されます。古来より「勢い」・「躍動」を象徴する年において、那覇の魅力が飛躍する一年になることを願います。

新しい年がみなさまにとりまして、実り多き素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら



市公式  
Instagram  
フォローしてね♪  
#なはとびで検索



市公式  
LINE  
友達登録は  
こちらから→



Catalog  
Pocket  
You can read this city  
newsletter in 10 languages.



FOREIGN  
RESIDENTS  
PORTAL





# 学校における働き方改革

～児童生徒と教職員のウェルビーイングを目指して～

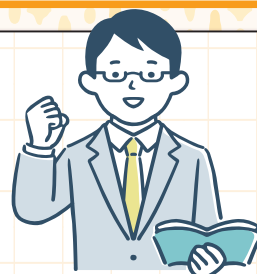


学校における働き方改革は、教員のワークライフバランスの推進だけではなく、本市の未来を担う子どもたちの育成にかかる課題であることから、教員が子どもと向き合う時間を確保できるよう、取り組みを推進しています。

問 学務課 ☎917-2106

## 01 市の取り組み

那覇市立学校に勤務する教員の業務量の適切な管理や、その他教員の健康および福祉の確保のため、令和2年に那覇市教育職員働き方改革推進プランを策定。令和5年には、副市長と教育長を共同座長とする「那覇市立小中学校教員負担軽減タスクフォース」を設置し、市全体で負担軽減に向けて様々な取り組みを進めてきました。



### 人的支援

#### ●教員業務支援員の拡充

授業で使用する教材の準備補助や、宿題の提出確認、学校行事や式典の準備など、教員の業務を支援しています。



担任に代わり入力作業を実施

#### ●特別支援教育補助員の拡充

特別な配慮を必要とする児童生徒の日常生活の介助や安全確保、学習活動などを支援しています。



お友達とのトラブル後、一時的に寄り添い支援

#### ●スクールロイヤーの配置

学校でのトラブルやいじめ問題などについて、各学校から弁護士へ法的側面で相談が可能になりました。

#### ●学校問題解決支援員の配置

児童生徒に関する非行、いじめ、虐待問題などの学校課題へ助言するため、「学校問題解決支援員」を教育委員会に配置し、教員の負担軽減を図りながら学校問題解決を支援しています。



研修の様子

### 校務のデジタル化

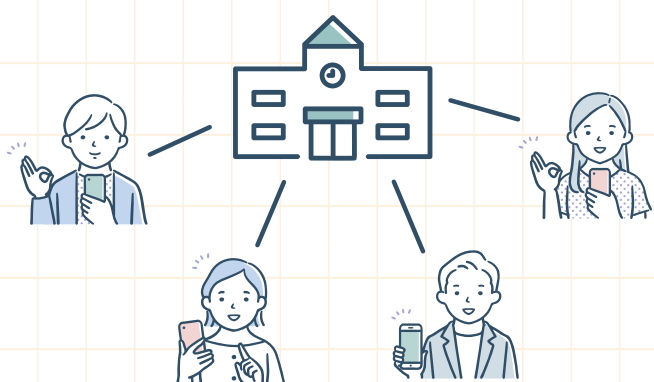
#### ●採点システムの導入(中学校)

教員が自作した答案用紙を読み取り、パソコンで設定することで採点業務の効率化を図っています。

#### ●学校保護者等連絡ツール

これまで紙や電話で行っていた学校・教育委員会から保護者へのお知らせや欠席連絡をデジタル化しています。

令和8年度からは、お知らせや欠席連絡に加え、校務支援システムとの連携や集金機能がある連絡ツールへ変更し、教員と保護者の負担を軽減していきます。



### 各種イベントなどの地域協力

#### ●やる気・元気 旗頭フェスタinなは

学校を中心とした実施から中学校区(青少協・地域など)ごとの旗頭チームを結成する方法へ見直しました。



#### ●那覇ハーリー

チーム監督者の範囲を地域や保護者の方々まで拡充し、参加校に対して支援金を支給しています。



### その他

#### ●春休み期間の延長

新年度に向けて、児童生徒の受け入れ準備を円滑に進めるため、春休み期間を延長しました。

3/26～4/6 → 3/21～4/7



02  
効果

学校長向けアンケート (R7.2月)

●働き方改革に効果がある取り組みベスト3

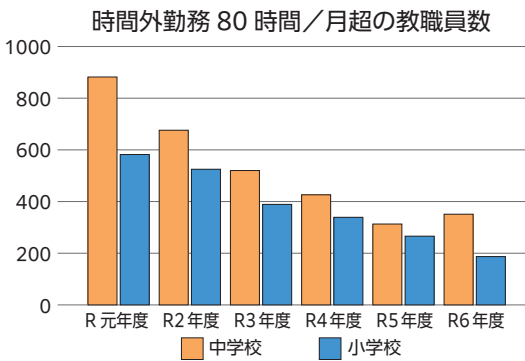
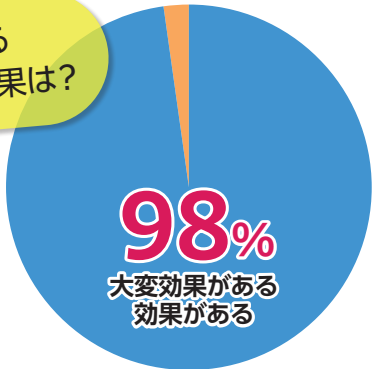
小学校(全36校)

- ①春休み期間延長(31校)
- ②各種支援員拡充(29校)
- ③市主催の行事見直し(28校)

中学校(全17校)

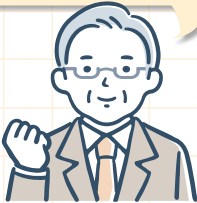
- ①春休み期間延長(17校)
- ②各種支援員拡充(15校)
- ③スクールロイヤー事業拡充(12校)

取り組みによる  
負担軽減の効果は?



教員の声

市が働き方改革を積極的に進めているから、学校内でも取り組みを進めやすくなった。



放課後の時間が増えた分、教材研究などの時間に充てることができるようになった。



デジタル化により、職員間の情報共有や保護者へのお知らせなどがとても行いやすくなった。



03  
これから

今後も、文部科学省が示す「学校と教師の業務の3分類」を踏まえ、教員が教員でなければできないことに集中できるよう、業務の適正化を推進し、教員の負担軽減について取り組んでいきます。



学校以外が担うべき業務

- ①登下校時の通学路における日常的な見守り活動など
- ②放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導されたときの対応
- ③学校徴収金の徴収・管理(公会計化など)
- ④地域学校協働活動の関係者間の連携調整など
- ⑤保護者などからの過剰な苦情や不当な要求などの学校では対応が困難な事案への対応

教員以外が参画すべき業務

- ⑥調査・統計などへの回答
- ⑦学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理
- ⑧ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理
- ⑨学校プールや体育館などの施設・設備の管理
- ⑩校舎の開錠・施錠
- ⑪児童生徒の休み時間における安全への配慮
- ⑫校内清掃
- ⑬部活動

負担軽減を促進すべき業務

- ⑭給食の時間における対応
- ⑮授業準備
- ⑯学習評価や成績処理
- ⑰学校行事の準備・運営
- ⑱進路指導の準備
- ⑲支援が必要な児童生徒・家庭への対応



教育長のメッセージ

平素より本市の教育行政へご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
本市では、学校における働き方改革を市全体で推進し、時間外勤務の減少など一定の成果を上げてまいりました。しかしながら、いまだ教員の長時間労働は深刻な課題であり、子どもたちと向き合う時間の確保が課題です。  
この課題を解決し、子どもたちに質の高い教育を提供し続けるため、学校・家庭・地域が一体となり「何ができるか」を共に考え、連携を深めることが大切だと考えております。  
保護者のみなさま、そして地域のみなさまにおかれましても、本市や各学校の働き方改革へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。  
那覇市教育委員会といたしまして今後も、より良い教育環境の実現、児童生徒と教職員のウェルビーイングの向上を目指してまいります。



那覇市教育長 宮里 寿子

出典：文部科学省HP「地域・保護者の皆様へ」

関係機関の連絡先

- ①事件・事故や、不審者遭遇など 警察(110番)  
那覇警察署 ☎836-0110(小禄地区は豊見城警察署 ☎850-0110)  
※児童生徒の生命に危険がある場合や喫煙・たむろなどの学校外の生徒指導については警察へ通報をお願いします。

- ②火災や救急などについて 消防・救急(119番)
- ③虐待や家庭内暴力などについて 児童相談所(189番)

